

平成 21 年度 科学研究費補助金（特別推進研究）
事後評価結果

研究課題名	アジアバロメーターを通じたアジア人の生活・規範・価値の実証研究	研究代表者名 (所属・職)	猪口 孝 (新潟県立大学・学長)
-------	---------------------------------	------------------	---------------------

研究課題の総合的な評価

該当欄		評価基準
	A+	期待以上の研究の進展があった
○	A	期待どおり研究が進展した
	B	期待したほどではなかったが一応の進展があった
	C	十分な進展があったとは言い難い

評価意見

本研究課題は、アジア 29 ヶ国の「普通の人々の日常生活」の調査分析を通じて浮かび上がってくる政治意識・政治文化・政治制度の比較研究である。

「アジア・バロメーター」という膨大なデータの蓄積を通じて、比較分析研究の土台作りをした貢献は大きい。また、数多くの関連論文と著作が、日英両語によって刊行されている。ただし、大量のデータの解析と分析から導出されるべき知見や命題、仮説に関して、明確な提示が不十分なものとどまった感があるのは残念である。

しかし、「実証的データの砂漠」であるアジア諸国に関して、民衆レベルでの比較分析研究に向けての土台作りがなされ、世界に向けたデータの発信が可能となった点は高く評価できる。